



平成 20 年 10 月 22 日

各 位

会社名 三菱重工業株式会社
(URL <http://www.mhi.co.jp/>)
代表者名 取締役社長 大宮 英明
(コード番号: 7011 上場取引所 東大名札福)
問合せ先 執行役員経理部長 河本 雄二郎
(TEL. 03 - 6716 - 2168 (広報))

平成 20 年度 第 2 四半期連結累計期間の業績について

当第 2 四半期連結累計期間（平成 20 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 9 月 30 日）の業績が、前年度中間期（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 9 月 30 日）の実績値に対して、下記の通り変動する見込みとなりましたので お知らせいたします。

なお、当第 2 四半期連結累計期間の決算実績と、その詳細内容につきましては 10 月 31 日（金）に公表いたします。

記

平成 20 年度 第 2 四半期連結累計期間の業績見込み（平成 20 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 9 月 30 日）

連結

(単位: 億円)

	平成 20 年度 第 2 四半期累計期間 業績見込み	平成 19 年度 中 間 期 決 算 実 績	増 減 額	増 減 率
売 上 高	15,746	14,464	1,281	8.9 %
営 業 利 益	727	558	168	30.1 %
経 常 利 益	755	410	344	84.1 %
純 利 益	290	279	10	3.6 %

※上記業績見込みにつきましては、本資料発表時点で当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績と異なる可能性があります。

(内容についての補足)

当第 2 四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、原動機セグメントを中心に伸長した結果、前年度中間期を上回る見込みです。

営業利益につきましては前年度中間期対比で、航空・宇宙セグメント、中量産品セグメントが減益となるものの、船舶・海洋セグメント、原動機セグメント、機械・鉄構セグメントが増益となり、全体でも増益となる見込みです。

経常利益につきましても、上記の営業利益増加に加え、営業外損益に計上される為替差損益などが改善したことにより、前年度中間期対比で増益となる見込みです。

なお、前年度中間期は特別利益が特別損失を上回っていたのに対し、当第 2 四半期連結累計期間は「棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額」を特別損失に計上（第 1 四半期）したことなどにより、特別損失が特別利益を大きく上回る見込みです。このため純利益は、前年度中間期対比でほぼ同水準となる見込みです。

以 上